

ドローン業務委託における安全管理の最低要求（レッドライン 5）

一 保険（必須提出）・初動体制（RACI）・救護（応急手当）整理資料

1) レッドライン 5（最低基準：逸脱＝中止/延期/再合意）

1. 第三者安全が担保できない場合は実施しない

立入管理区画、誘導体制、退避導線が設計・実装できない場合は中止する（代替案も含め再合意）。

2. Go/No-Go の判断基準は数値で事前合意し、当日記録する

風速・視程・降水量等の基準、観測方法、判断者（権限）を明確化し、直前確認を記録する。

3. ConOps は前日までに提出・承認（当日変更は変更管理）

目的、範囲、機体、体制、第三者対策、緊急時対応を含め、前日までに承認を得る。変更は根拠と共に記録し共有する。

4. 通信計画（主・副）と障害時代替を必須化（災害時は事前試験）

主通信/バックアップ、通信障害時の代替手段を定め、災害時は運航開始前に通信試験を行う。

5. 事故・ヒヤリハットの第一報期限と報告フローを契約で拘束

事故に至らない事象も含め、第一報（例：30 分以内）と様式・ルートを事前合意する。

2) 保険（必須提出：証券＋主要条件説明）

- 受託者は、保険加入を証明する保険証券を提出し、補償範囲および免責の主要条件（特に免責金額、適用除外事由）を説明できること。
- （運用補足）提出タイミングは「業務開始前」、更新・更改があれば速やかに差替え。

3) RACI（第一報＝担当課携帯：役割分担と連絡の持ち方）

前提：事故/重大トラブル時に「初動対応責任者（インシデント・コマンダー）」を定め、発注者への第一報ルートを事前に書面合意する。

RACI（最小・実務版）

事象	Responsible (実行)	Accountable (最終責任)	Consulted (助言)	Informed (共有)
第一報（発生～30分以内）	受託者：初動対応責任者	受託者：統括責任者	発注者：担当課（連絡受領）	発注者：関係部署/上長（所定）

現場安全確保・負傷者対応・関係機関連絡	受託者：現場指揮	受託者：初動対応責任者	発注者：担当課	発注者：所定
対外発表窓口・情報収集約	発注者：広報/所管 (案件により)	発注者：所管部門長	受託者：統括責任者	関係者

担当課の連絡保持（携帯）ルール：

- 第一報の受領者は「担当課の携帯番号」を連絡先として指定し、夜間・休日も含む受領体制を事前に明確化（緊急連絡網の合意）。

4) 救護（応急手当）－ 必須要件（運用・監査可能化）

受託者は、負傷発生時の被害拡大を抑制するため、以下を満たすこと。

- 救護体制（役割）**：業務実施日における応急手当対応担当者および代行順位を定め、事前に発注者へ提示できること。
- 訓練（スキル）**：業務従事者は、応急手当訓練を受講していることを示す資料（修了証等）を提示できること（資格名の指定はしない）。
- 装備（キット）**：現場に救急キット（止血・保温等を含む）を携行し、使用可能な状態で配置できること。
- 初動手順**：事故・負傷時の対応（119番通報、現場安全確保、発注者への第一報、次報）を初動手順として整備し、必要に応じて発注者と共有できること。